

JA共済カップ 第14回栃木県ミニバスケットボールフェスティバル要項

1 目 的

- (1) ミニバスケットボールの更なる普及・発展を願い、県内各地の優秀選手を主体とした選抜チームを編成し、他地区と交流しながら、指導者の理解や技術の向上及び審判技術の向上を図る。
- (2) 将来に向けて選手生活が持続するように楽しく充実した大会にし、選抜選手のバスケットボールに対する意欲を一層高めようとする。尚、ミニバスケットボールクリニックを実施し、技術向上を図る。

- 2 主 催 栃木県バスケットボール協会
栃木県ミニバスケットボール連盟
下野新聞社

- 3 特別協賛 JA共済連栃木(予定)

- 4 協 力 鹿沼市バスケットボール協会 モルテン 宇都宮スポーツ

- 5 日 時 平成30年2月10日(土)・11日(日)

- 6 会 場 鹿沼総合体育館(フォレストアリーナ)

7 運営方法

(1) 覇権の部

各地区選抜チームによる男女別リーグ戦を行う。(別紙参照)

予選リーグ戦を男子は3チーム×2ブロック、女子は3チーム×3ブロックで行う。

2日目は、男子は順位別対抗戦と交流戦、女子は順位別リーグ戦を行う。

※ブロック分け抽選は、全国大会予選の最終日理事会において各地区理事が代表で行う。

その際、女子は同地区のチームは同じブロックに入らないように配慮する。

(2) クリニックの部(10日(土)のみ実施)

ミニバスケットボールクリニックを行う。参加対象 5年女子各チーム1名。

8 参加資格(覇権の部)

平成29年度栃木県ミニバスケットボール連盟に登録していて、各地区で選抜された選手及び指導者と全国大会出場チームの選手及び指導者とする。1チーム選手15名、チーム責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・代表者各1名(ベンチスタッフ5名)のチーム編成とする。(参加選手は6年生とし、15名に満たない場合は5年生以下でも可とする。5年生以下は1試合1Qのみの出場とする。)

各地区で選抜した選手の中から、全国大会出場選手が生じた場合、その選手数を必ず補充する。

9 競技規則(覇権の部)

日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準ずる。

マンツーマンディフェンスを行うこととする。

10 使用球

日本バスケットボール協会公認球5号人工皮革ボールを使用し、大会本部で用意する。

11 表 彰 (覇権の部) 男女優勝チームにJA共済カップ、男女優勝・準優勝選手にJA共済メダルを授与する。なお、参加選手に参加記念品を贈呈する。

12 チーム編成について(覇権の部)

(1) 男子チーム(6チーム)

・全国ミニバス大会栃木県予選会優勝チーム 1

・宇河2・下都賀・上都賀+安足、北那須+南那須+塩谷 各1

(2) 女子チーム(9チーム)

・全国ミニバス大会栃木県予選会優勝チーム 1 ・宇河 各2

・上都賀・下都賀・塩谷・北那須・南那須・安足 各1

13 選抜方法(覇権の部)

選手の選出については各地区に任せる。またベンチスタッフはそれにふさわしい人格の持ち主であること。

14 ミニバスケットボールクリニックについて

(1) 日時 平成30年2月10日(土) 受付12:00 クリニック12:30~14:00

(2) 対象 5学年女子 各チーム1名

15 その他

(1) 10日(土)は、開会式があるので各チームは8時15分までに会場に集合すること
開会式は会場の準備終了後に行う。また、閉会式は大会終了後、ただちに行う。

(2) 審判技術の向上を図るため、審判部に依頼して講習会を兼ねる。(日本公認を中心に)

(3) プログラムを下野新聞社の協力により作成する。